

刑法総論 I

科目ナンバリング CRL-101
必修 2単位

増田 隆

1. 授業の概要(ねらい)

「およそ犯罪が成立するためには、どのような要件を充足する必要があるのか?」、すなわち、犯罪の一般的成立要件について、実際の裁判例を可能な限り多く紹介しながら、わかりやすく説明したいと思います。政治学科の学生向けの授業なので、細かい解釈論よりも、学説の歴史的流れを重視して学びます。

2. 授業の到達目標

①刑法学は、他の法分野よりも学説の対立が激しく、難解だと言われますが、教科書を通読して自習する習慣を身につけてもらうこと。

3. 成績評価の方法および基準

筆記試験(60%) 及び平常点(40%)

4. 教科書・参考文献

教科書

高橋則夫 『刑法総論』(4版:2018年) 成文堂

山口厚ほか 『刑法判例百選 I -- 総論』(7版:2014年) 有斐閣

5. 準備学修の内容

教科書の該当箇所を通読してください。

6. その他履修上の注意事項

知識の単なる丸暗記に終始することなく、「なぜ?」と自問する探求心を、刑法を素材に身につけてもらいたいと思います。授業に出席して学ぶことはもちろんのこと、他人と場所及び時間を共有していることを常時意識して、私語を慎む等各自自覚してください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-----------|
| 【第1回】 | オリエンテーション |
| 【第2回】 | 刑法学の基礎 |
| 【第3回】 | 罪刑法定主義(1) |
| 【第4回】 | 罪刑法定主義(2) |
| 【第5回】 | 犯罪論体系 |
| 【第6回】 | 構成要件論 |
| 【第7回】 | 実行行為論 |
| 【第8回】 | 因果関係論(1) |
| 【第9回】 | 因果関係論(2) |
| 【第10回】 | 不作為犯論 |
| 【第11回】 | 故意論 |
| 【第12回】 | 事実の錯誤(1) |
| 【第13回】 | 事実の錯誤(2) |
| 【第14回】 | 事実の錯誤(3) |
| 【第15回】 | 復習 |